

13 温泉利用施設立入検査

【水質環境科】 平野 温馬

県下の温泉の実態を把握するため 62.11～63.3に11カ所の温泉の207利用源泉について温度、湧出量などを調査した。

源泉はすべて25℃以上で、平均泉温は70～31℃で、源泉の約70%が42℃以上の高温泉で、特に東郷、皆生、鹿野は平均泉温62℃以上である。湧出

量は総量15,000ℓ/分で、皆生が多く3,470ℓ/分で最小は湯谷の190ℓ/分である。電気伝導度は13,200～580 μ S/cmで、皆生が最高で、吉岡、関金、鹿野の単純泉は低値を示している。硬度も電気伝導度と同様な傾向である。

調査結果の概要を表に示した。

温泉調査結果表

名称	総数	温度別利用源泉水				平均泉温 (℃)	湧出量 (ℓ/分)	電気伝導度 (μ S/cm)	Cl ⁻ (mg/l)	硬度 (mM/l)	主な泉質
		<25	25～42	42～							
岩井	5	0	3	2	46	1,205	1,700	150	6.2	カルシウム・ナトリウム-硫酸塩泉	
鳥取	22	0	4	13	45	690	4,650	840	3.7	ナトリウム-塩化物硫酸塩泉	
吉岡	5	0	1	3	47	1,105	580	77	0.5	単純泉	
浜村	24	0	8	16	48	1,380	1,180	210	1.9	ナトリウム・カルシウム-塩化物硫酸塩泉	
鹿野	8	0	0	8	62	1,240	1,110	270	0.5	単純泉	
羽合	6	0	0	6	54	1,740	2,120	600	2.7	ナトリウム・カルシウム-塩化物・硫酸塩泉	
東郷	27	0	8	16	70	1,380	1,780	460	2.2	ナトリウム・カルシウム-塩化物・硫酸塩泉	
三朝	83	0	17	66	50	2,220	1,290	340	0.7	単純・放射能泉	
関金	17	0	11	6	43	400	610	97	0.3	単純・放射能泉	
皆生	21	0	2	13	68	3,470	13,200	5,740	44.4	ナトリウム・カルシウム-塩化物泉	
湯谷	4	0	4		31	190	2,780	650	1.3	ナトリウム-塩化物炭酸水素塩泉	
計	222		58	149		15,020					

- (注) 1 泉温、電気伝導度、Cl⁻硬度は平均値
 2 総数は調査源泉数、温度別利用源泉数は現在の利用中のもの
 3 皆生は日吉津村を含む